



總務室
63

時局情報宣傳資料

昭和十六年六月一日

皇國內外の情勢 (第三號)

極秘

情報局

●注 意

- 一、本冊子は當局一情報官の作製せるものを連絡調整の上編纂したものである。
- 二、本書の目的は關係官の職務遂行上の参考たらしむるに在るも、内容には祕に屬するものあるを以て保存取扱ひに就いては特に注意を望む。
- 三、本冊子は情勢の變化に伴ひ、時々改訂せらるゝことあるを以て、改訂版を受領せば速に新資料と差換へ、舊資料は焼却せられたい。
- 四、本冊子は職務上利用すべきものなるを以て、異動等の場合には必ず後任者に引継ぐべきものである。

皇國內外の情勢(第二號)目次

はしがき

國際情勢	一頁
一、支那事變の現況	一
二、歐洲戦争の現況	八
三、南方情勢	二〇
四、ソ聯邦情勢	二五
國內情勢	二九
一、對米問題	二九
二、交戦國の對日宣傳戰	三〇
三、戦時體制の強化	三四
附録 現下の食糧問題	四三

はしがき

歐洲戦争は愈々深刻化し米國の参戦は切迫して來た米國の参戦は世界戦争である。この世界戦争に處する帝國の態度如何は鼎の輕重を問はれる極めて重大なる情勢に直面しつつある。吾人は常に最悪の時態に處するの覺悟を以て急速なる戦時體制を整備することが必要であることが痛切に感ぜられるに至つた。本冊子は五月二十七日ルーズベルト大統領の爐邊談話直後迄の情勢を記述したものである。

末を轉倒せるものと謂はなければならぬ。

現地軍としては愈々作戦行動を強化し、敵軍の撃滅に努める一方經濟封鎖を益々強化し活潑なるわが思想攻勢を行ひ以つて抗戦力を消滅せしめ、抗戦意識を放棄せしめることに凡ゆる手段を盡しつゝある次第であつて、其の成果が具體的に現はれつゝある今日統帥自から必勝の信念を疑ふ如きことは國家の爲害あつて益はない。四年に互る支那事變の戦果は物心兩面に互り極めて偉大なるものがある。十萬の尊き人柱に依つて支那大陸に確固不拔の發展基地は設定せられた。この基地は曠て南方發展のためにも基地となる。只慾を謂へば國家の總力戰體制整備が四、五年遅かつたことである。大いに國體の本義に基く日本精神を振起し職域奉公に努力するを要する。吾人は支那事變の戦果を單に占領面積や敵に與へた損害のみを考へてはならない。わが國家體制整備も大なる戦果である。吾人は須らく世界的視野に立つて支那事變の日本歴史的、世界歴史的意義を考へなければならぬ。事

變の本義に鑑み事變解決のためには内外を擧げて協力一致政戦兩略に互る對重慶壓力を徹底強化し今後數十年の長期に互るとも重慶の屈伏に邁進すべきである。

わが作戦の概況

一、二、三、四月に至り中南支の沿岸各地に對し封鎖作戦を実施しつゝあつたわが陸海軍の敵側及び援蔣第三國側に與へたる經濟的影響は次に述ぶる程度であつて直接的には甚しく顯著なるものとは認められない。しかし他の施策と相俟つて漸進的に現はるべき影響は相當大なるものあるべしと豫想せられる。

1. 主要鹵獲品(二―三月分ニシテ香韶作戦ニ於ケルモノ最モ多シ、兵器關係ヲ除ク、民有品ノ鹵獲ハ新聞等ニ發表シナイコトニナツテキル)
ガソリン一萬七千罐、石油一萬三千罐、自動車部分品六九〇個、同タイヤ約一千五百本、機械數一三八個、セメント約千二百袋、銅九百疋、綿絲約四百個、綿布、綿製品約二萬個、紙七百個、硫安三七五個、鹽五千疋(以上移輸入品)茶四百七十個、アンチモニー一千個、錫塊九百個、タンクステン二百五十疋、マンガン九千

俵、桐油一萬二千捆、軌條七千本、木材五萬本。以上の貨物を一覽しただけでも沿岸各ルート特に香韶ルートに於ては敵側國營の輸(移)出入品並奥地に於て特に不足して居る綿絲布、綿製品等の流動相當大なるものがあつたことを物語つて此等ルートの遮断による將來への影響は相當大なるものありと考へられる。

2. 上海法幣並に香港弗相場の変動状況

日	上海法幣 (百元)		香港 (百弗)	
	對軍票	對米	對軍票	對英對米
一月十五日	五五圓	五弗	二六三圓	一三弗
二月十二日	五四	五	二六四	二四
三月十三日	五〇	五	二二九	二四
三月二十六日	四三	五	一八七	二四
四月二日	四六	五	一九二	二四
四月五日	四七	五	一九四	二四

日	四七	五	一九九	二四
四月十日	四七	五	一九九	二四
四月二十八日	四四	五	二五五	二四

右の表に見る如く上海法幣及び香港弗の對英米相場は大なる變動を示しては
ないが作戦毎に軍票に對する大幅の下落を示し且つわが作戦行動一段落後
は概して落付いてゐる。右の如き軍票の高騰は他の原因にもよるが、わが軍
の封鎖戦も之が一原因と見ることが出来る。

3. 香韶「ルート」遮断作戦當時香港に與へたる打撃の一例
- イ、從來二、〇〇〇乃至二、三〇〇香港弗なりしトラックが八〇〇弗に暴落した事實がある。

ロ、香港支那側新聞によれば同地には三十餘の支那側運輸業者があつたのが二月下旬以來續々閉業してゐる。

五月より北、中、南支に互り同時に進められつゝあるわが進撃作戦は重慶側に對

皇國內外の情勢

し多大の脅威を與へつゝある。特に北支山西省南部黄河河畔の中原作戦はその規模の大なる點その戦果の大なりし點に於て近來稀に見るものであつたと云へる。敵軍當局の心膽を寒からしめ、北支攪亂の根源を切り取つた意味に於いて大なる價值があつた。北京を去る二百里の奥地炎暑の候黄塵を浴びて活躍しつゝある將兵の辛苦は眞に言語に絶するものがある。

上海の敵性

上海は從來國際都市として又自由經濟都市としてその特性を發揮し抗戰繼續上重慶政府にとつて政治的に經濟的に價值極めて大なるものがあつた。しかるに一昨年以來わが方の租界工作の進捗、對敵經濟封鎖の實施及國際情勢の變轉等によつて漸次その敵性を失ひつゝある。目下殘存すると認められる主なる經濟的の敵性としては民需物資の吸引及對外輸出の基地及敵性法幣の策源地なることである。前者に對しては昨年六月以來の物資搬出入取締制の強化、沿岸封鎖作戦の強行並江海關に對する四月七日の國民政府の行政的施策等によつて敵

側は相當なる封鎖の打撃を受けた。今後は恐らく凡有方式を以て潜行的に上海物資の吸引に必死の努力を拂ふことであらう。又後者に就いては現狀より察すれば蔣政權は飽く迄英米に依存して上海市場を抛棄せず、英米側としても莫大なる銀行、電力、瓦斯、船舶、公共事業及貿易等の在支權益を顧慮するのみならず、非占領地域のみによる法幣の價值維持困難なるところから容易に之を抛棄せしめず最後の關頭に至る迄之が支持に努力するであらう。最近調印を見た米國よりの法幣安定資金五千萬米弗は現在毎月五百萬米弗を限度として法幣安定の爲に外貨を賣應ずることとしてゐる。之に對するわが對策としては物資輸入を徹底的に遮斷し法幣の實質的價值を暴落に導くを必要とする。

治安の回復

占領地區の治安は日一日と良好となりつゝある。特に北支に於ては一部共產軍の策動ありとは云へ全般的には極めて良好になつたと云へる。冀東地區の警備の如きは既に支那側の警察隊軍に譲り、中支三角地帯に於てもわが

軍指導の下に清郷委員會が配置せられる等成績は著しく向上して來た。

今若干具體的數字によつて之を説明して見ることにしよう。

省財政廳關係のみの收税成績を一昨年十四年と今年の豫算とを比較して見るに、河北省は七百五十萬元から一千七百萬元に山東省は八百萬元から一千三百萬元、山西省は百二十萬元から七百萬元、河南省は二百萬元から四百四十萬元と何れも大體事變前の半分位に達し飛躍的に増強してゐる。この數字から見ても治安恢復の狀況が察せられるであらう。

二、歐洲戰爭の現況

東地中海作戰

バルカン作戰に嚇々たる戦果を収めソ聯を除く歐洲大陸全土を席卷したる獨伊樞軸軍は土氣愈々揚り、戰場は今や一轉してスエズを中心とする近東東地中海、北阿弗利加と云ふ三大陸の陸と海とに跨る極めて複雑なる地形

に移された。昨年四月のノルエー作戰以來フランドルス希臘作戰と失敗に失敗を重ねたる英國の損失も考へて見れば餘り大したものではなかつた。しかし今や大英帝國交通路の要衝スエズ運河の運命を賭けての戦ひとなつた。英軍當局は本作戦が償つてなき重要價値あることを悟れるためならん凡ゆる手段を盡して兵力を増強し防備を固めつゝある。即ちアレキサンドリヤ、ハイファ等を海軍基地として四十萬トン、それに押收佛艦八萬トン計約五十萬トンの海軍力を擁し、陸軍はチャーチル首相の言によれば五十師團更らにインド方面よりの増援軍を英イラク同盟を楯にイラクに進出せしめ、又濠洲よりも派兵中である。かくてスエズを中心イラン、エジプト方面四百里に亘つて戦線が展開されんとしてゐる。

之に對する獨伊樞軸軍は目下優勢なる空軍を以て英海軍根據地マルタ、クリート島を制壓すると共に空軍協力の下にエジプト戦線への兵力輸送を行ひつゝある。クリート島に對する空輸作戰は今開始して行はれた戦法で、その成功は今後

の上陸作戦に新戦術を提共したことになる。クリート島を獨軍に占領せられた今日、英地中海艦隊の行動は著しく制限せられることとなる。又一方トルコ、佛領シリヤ方面よりの陸上作戦を進捗せしめるために兩國に對して事前の政治、外交工作が種々研究工夫せられつゝあるに非らざるか。何づれにするも樞軸側の困難は兵力輸送の點にありこの點を解決すればスエズ作戦は若干時日を要するとも地中海より英勢力を驅逐することは時間の問題となつた。北阿方面はその後獨逸軍は専ら攻撃準備を整へてゐる。

イラクの蹶起

石油の豊庫として世界に有名であり、英東地中海艦隊への石油供給源たるスモール油田を有するイラクは豫ねて反英氣分鬱勃たるものがあつた。英軍が希臘に敗戦後近東防備のためイラクに不合法の派兵を行ふや五月一日、イラクは斷乎として蹶起した。イラク軍は英空軍基地に對する攻撃の火蓋を切つた。イラクの蹶起は繼て全アラビア民族の反英運動へと轉火すべく英本國の

心痛の程が窺はれる。之が爲め英當局は取敢へず現地部隊を派遣して之を壓伏せんと力めつゝあるもイラク軍善戰對峙しあるものゝ様である。その後各地に於て小戦闘が行はれてゐる程度で餘り大なる發展は見られない。五月中旬より獨逸空軍は之を救援すべく先づその飛行隊をして英軍基地の攻撃を行はしめて之に協力してゐたが、五月末日イラクは英國と停戦した模様である。

イラクの蹶起は時期稍、早きに失した感があつたが之を契機として豫ねて反英意識濃厚なりし近東民族の獨立運動に對し老大英帝國も既に悲觀的空氣になりつゝある。

對英逆封鎖

ドイツ海空軍が英國船舶に與へた双方の發表にはいつも相當の懸隔があるが大體に於て正確と思はれる數字は開戦以來三月末日まで合計約七百萬トン(内撃沈六百萬トン、大破百萬トン、潜水艦被害約五〇%、水上艦艇によるもの約二五%、飛行機によるもの二五%)と思はれる。一九三九年九月開戦當初に於ける英國の商船保有量は約二千百萬トン(その内航洋船舶は一千八百五十

萬トン)昨年九月開戦以來一ケ年に於ける損害約四百萬トンと見られ、自然消耗を五十萬トンと見積れば約四百五十萬トンの消耗となり相當の打撃と見られる。しかるに英國は一方ドイツのノルエト作戦或は白、蘭作戦間デンマークその他より約八百萬トンの商船を掠奪し、更に自國建造船八十五萬トン、備船購入等により得たもの約百萬トン、拿捕その他約五十萬トンを加へ結局一千三十五萬トンを新たに獲得し差引き六百萬トン近くの純増となつた。結局開戦以來一年後には總保有量約二千六百萬トン内航洋船二千二百萬トンとなつた。しかしながらその後の情勢は英國にとつて頗る悪くなつて來た。ユーロツバ大陸に於けるドイツ軍の歴倒的勝利のため急轉直下孤立の運命に追ひ込められると共に、獨逸空軍の猛烈極まる不斷の爆撃下に曝されて年約三百萬トンと稱された英國の造船能力も急激に低下の運命を辿りつゝあり、米國の援助によつて送られる商船も大體四割位を途中で撃沈され昨年九月以降三月迄の被害數三百萬トンに比しこの七ヶ月間に

おける増加の量は造船能力を三分の一に減少を見て約六十萬トン、それにアメリカから獲得した九十五萬トンを加へ約百五十五萬トンであり結局百十五萬トンの減少であり、更らに四月の被害百萬トンを加へると英國の商船現有量は總計約二千二百九十萬トン、そのうち航洋船艦は千八百六十萬トン内外と見るべきであらう。この時の山が見えて來た英國商船の現狀に對しドイツはいよいよ潜水艦數を増強してその攻撃に拍車をかけてゐる。開戦當初僅かに五十數隻に過ぎなかつた潜水艦も現在に於ては一日一隻程度に達し(ドイツの潜水艦は構造簡單なる故)たと云はれその驚異的な建造能力によつて既にその勢力は二百隻以上を越へ建造中のものも百隻内外に達したといはれ、これ等が一齊に大活躍を開始するときはその攻撃力は恐るべきものと豫想される。今後英國はその造船能力を差し引いて尙ほ且毎月八、九十萬トン或はそれ以上を喪失するものと見られ、七月末頃迄には總就航船舶は千三百萬トン程度に急速に低下するに非ざるかと見られ果して然り

とすればそれこそ英國にとつての死活の問題となる。

一四

即ち資源に恵れぬ孤島英國としてはこの二千萬トンの船舶があればこそ四千萬の人口を養ふことが出来これ迄の戦争にも堪へ得たのであるが、この命の綱の船舶を次第に喪失して行くことは全く刻々と壽命を縮めることとなる。しからば英國としては生存を續けて行くためには果して最少限度どの位の商船を必要とするか、その査定は頗る難しいことであるが大體千二百萬トン内外と推定される。従つて航洋船の保有量がそれ以下になつた時こそ英國の壽命が完全に止る時である。試みに前大戰當時についていへば最も苦境に立つた時に一千六百萬トンの輸送力で辛うじて戦局を維持してゐた。尤もこれは聯合國を引受けての數字である。これを以て見ればドイツの對英通商破壊戦がいよゝ峻烈に續く限り英國は七、八月の候ともなれば、一大危機に直面しなければならぬ羽目に立ち至つてゐるといへよう。かくて大西洋における獨英の攻防戦も日増に死闘の形相を呈し米

國の援英もこゝを先途と深刻化するであらうことは明白である。

英國内状況

獨逸空軍の軍需工場、都市に對する爆撃により直接の被害の外、勞務員特に熟練者の死傷、精神動搖、その他運輸機關の損傷等に基く原料輸送の困難等のため各種の支障を生じあることは事實なるも、本年初め頃より軍備充實計畫に基く新設工場も逐次本格的運轉期に入り政府の異常なる努力と且つ鞏強なる英國民性及屬領の援助とによつて英國軍需生産能力は餘り低下しあらざるものと認められる。即ち航空機生産は最優先權を與へ航空機生産省の發表によれば本年三月の生産は一年前の二倍半に達したと述べてゐる又戦車の生産も本年末には現在の二倍に達するものゝ様である。

食糧に就いても現在概ね十ヶ月位の貯藏量を有してゐる模様で現在未だパンの統制を實施して居らない。爆撃、封鎖により日一日と深刻化し將來を憂慮せられあるも現在に於てはまだ餘裕がある状態である。

國民一般の戦意は今尚ほ極めて旺盛であつて海上封鎖空爆のみを以てしては容易に屈服せざるべしと見られてゐる。

一六

米國の對英援助

英國の没落に比例して米國內には對英援助、参戦問題が政治の中心問題となつて來た。戦争を意味する商船の軍艦護送問題は前大統領フウバイ始め強硬なる反對論者あり五月十六日附ニューヨークタイムス紙掲載の例のギヤラツプ輿論調査によれば参戦賛成二十一%、参戦反對七十九%であり三月の調査に於ては参戦十七%、四月に於ては十九%と逐次實質的参戦方向に傾きつゝあることが明かである。しかし米國の参戦は時間の問題であつて國際ユダヤの世界謀略は逐次成功してゐるとの見方も強ち一笑に附し得ざる感がする。

ヘス事件

五月十一日獨逸ヘス總統代理が突如として敵國英本土に飛來した。ヒットラー總統の後繼者として自他共に任ずるヘスのこの奇々怪々の行動は全く全世界を驚かした。獨逸當局はヘスは職務劇甚のため神經衰弱病狀にあつた

と發表したのみで真相補促し難きも尙分問題が問題だけにナチ黨内の紛争説或は和平案携行説等種々の噂が飛んだが、ヘスが理想家肌のところより愈々深刻化せんとする戦争の前途が英帝國の没落のみならず歐洲文明の没落となることを憂へこの際單身英本國に乘込み英國爲政者の反省を求めんものとの希望に燃えて遂にかくの如き越軌の行動に出たのが真相ならざるかと考察せられる。ヘスは今捕虜として監禁せられてゐる。英國民は一時近來にない朗なニュースとして盛んに之を利用してゐたが最近はこの本問題に對し興味が冷却してゐる。しかし「ヘス」問題のためヒットラーの將來の施策に對し支障ありとは考へられない。

獨ソ關係

巴爾幹に於ける獨逸勢力の擴大を希望せざるソ聯は從來中立政策を堅持し對獨關係に於て不即不離の態度を取りつつも反面に於ては反獨的施策を行ひ陰に對獨牽制を以て巴爾幹に於ける發言權の増大を圖つて居つたのであるが、今次獨逸軍の巴爾幹作戰に於ける電撃的成功はソ聯をして窺ふ隙を與へず

皇國內外の情勢

一七

獨逸の巴爾幹に於ける地位を愈々決定的なるものたらしめた。ソ聯としては獨逸の威武今日の如き状態にあつては獨逸とは事を構ふことなく當分傍觀的態度を保持して時機の到來するのを待たんとしてゐる。今最近迄のソ聯の對獨逸策を見てもみるに次の様である。

1 ユーゴ問題

今回のユーゴ政變に際してはソ聯はその民族政策の見地から内面的に策動を企圖して居つた。即ちソ聯紙はユーゴ事件の重大性を強調し四月三日には各紙一齊に之を取上げ重大關心を示したが獨軍のユーゴ進撃の前日四月五日ソ聯はユーゴとの間に不侵略條約を調印、ソ紙は之を戦争擴大防止を念願するソ聯平和政策の現れなりとして大々的に之を報道し、獨逸戰闘を開始するやソ紙はセルビア人の勇敢さを稱讚した。右の行爲は獨逸に對する嫌味及ユーゴに對するゼスチユアと見るべきも、更らにソ聯參謀將校がユーゴ參謀本部の對獨逸戰に助言を與へたり、本作戦の前日獨逸のモロトフ宛通告に對しモロトフは戦争となりたるを遺憾とする旨を返電せる邊り獨逸間の微妙なる關係を思はしめる。

2 又駐ソ洪牙利公使は四月十二日ウイシンスキ外務次官に對し洪軍のユーゴ進出をソ聯が正當視する様要請せるに對し、ソはソ聯政府はかかる行動に賛成し得ざる旨述べた。

3 土古を繞る關係

土古は依然中立維持に汲々としソ聯も亦之を希望してゐる。三月二十五日ソ土友好共同宣言を發表し獨逸の攻勢に備へるところがあつたが、その後歐洲戰局の推移に伴ひ四月八日重ねて不參戰の意を表明すると共に、對獨伊接近の傾向を示して來た。ソ聯は土古に對し重大關心を示し四日附赤星紙は「歐洲戦争の重點は東方に轉移し獨軍の英本土上陸作戦は目下問題とならざるに至つた」と論じ又四月十日附瑞典コミンテルン機關紙は「獨逸は巴爾幹の戰勝に乗じ且依蘭の反英運動を利用しツイルヘルム二世の抱いて居つた三B政策の復活を企圖するであらう。之はソ聯としては黙視し得ないものであることを考慮しなければならぬ」と論じてゐる。

4 近東方面

ソ聯は近東、中東(イラン)方面に對しても何等かの企圖を有するもの如く、英勢力の没落に

乘じ勃興しつつあるこの方面民族の反英運動に對し暗躍しつつあることは想像に難くない。
日ソ中立條約の成立直後極東方面より小兵力を抽出この方面に轉用したものの様である。

獨ソ國境の防備強化

獨ソ國境は双方共防備の強化に懸命である。

以上述べた如く獨ソ兩國の施策を見るときは友好關係にありとは認め得ざるも一方に於てはバルト三國住民の交換が無事完了し又最近成立したる獨ソ新通商協定等政治的には最近兩國當局共に友好關係の増進に努めつつある。結局獨ソ間は茲當分獨逸の戰勢有利なる間は無事なるものと判断せられる。英米はソ聯邦を刺激して獨ソ離間のために凡ゆる謀略工作を行ひつつあることを吾人は警戒しなければならぬ。

三、南方情勢

英領馬來の軍備

英領馬來に對しては戰爭勃發後印度及濠洲方面から數次に亘つて兵力増強せられシンガポール極東軍司令部の發表によれば歐洲戰爭勃發以來に増援集中せられたる兵力は六万と稱するも之は多分に宣傳を加味するものにして戰爭前の兵力約八千と合せ現在兵力は多くも四万を出でざるものと思はれる。その兵力配備の重點は概してタイ國國境シンガポール要塞地區にある。航空兵力は英軍當局の發表によれば五、六百機と稱しあるも事實は三百機代であらう。

軍隊は印度兵を主として濠洲兵、英國兵之に次ぎ新西蘭馬來人兵若干を加へたる全くの混成部隊にして一般に戰意に乏しきものの如く、軍隊の裝備は部隊によつて優劣甚しく濠洲、印度部隊は完全に機械化されあるも中には支那軍以下のもある。飛行機は概ね新銳機である。

泰、佛印紛争調停

去る五月九日、泰、佛印間平和條約が無事調印せられた。

皇國內外の情勢

今次條約文調製に於ける特徴は第一、わが代表部の手により原案を作製して之を基礎とし兩國間の折衝を行つたこと第二、日本語の正文を加へたことは例が少いこととて之により帝國は條約效力發生後も保證國たる地位を得たことである。今次帝國の紛争調停に當つて英米の策動は勿論、佛印は英米と通謀し、泰國內には親英分子の暗躍等があつたが帝國の眞正なる態度、確固たる決意とはよく此等障害を排除して遂に之を成立に導き得た。

日、佛印經濟協定

去る五月六日、日、佛印經濟協定が調印せられた。協定内容の第一、居住航海條約に於ては動産不動産の所有及使用商工業の經營會社の待遇等經濟的活動を除き入國居住各種課税等は同國民と同様の待遇を受けることになつた。第二、關稅貿易支拂協定に於ては原則として最低稅率を適用し、食料その他の必需品四十種品目に就いては免稅、綿布雜貨等百三十餘品目に關しては最低稅率を更に低減する。更に重要な取極として四百數十品目に就いて最低

稅率の据置を約した。第三の貿易に就いては日本の佛印よりする輸入品目としては米、石炭、玉蜀黍、生漆、鐵礦、マンガン礦、燐灰石、亞鉛、タングステン、硃砂、牛皮、鹽、松脂、胡椒等て米を除き七、八千萬圓(昭和十四年の輸入總額は二千六百萬圓)である。之に對し日本より佛印への輸出品目は綿布、人絹、その他の雜貨類である。決済は原則として第三國通貨を使用せざる建前である。その他日本人商社加入、企業、日本人學校開設許可の問題もあり以上の外帝國の必需資源たる鐵、錫、ゴムその他の輸入保障に關する協定がある。以上述べたる如く帝國は之により從來に比し頗る有利且安定的なる經濟發展を實行し得るに至つた。しかし將來第三國からの策動が豫想せられその點最も警戒を要するものと思ふ。佛蘭西本國は、ベタン首相の深謀遠慮により日、獨、伊樞軸國に對しては努めて協調的態度に出て居るのであるが佛印現地機關は心中大いに憤慨してゐる模様である。

日、蘭印會商の推移

今日迄に於ける日、蘭印交渉の成行を考察するにわが

提案は石油問題の外二、三枝葉末節の事項を除き殆んど全面的に拒否せられある状態であつて僅かに容認せられたのは石油の輸入に於てわが要求量の約半分を認、未開發石油鑛區若干の開發權讓渡並に日、蘭印銀行金融協定の調印、鐵鑛その他若干の企業問題及不開港地寄港手續の緩和、開港地若干増加に就て多少好意を仄かした程度であつて蘭印側は蘭印の自主獨立性の強調、對外無差別主義の主張、東亞共榮圈及相互依存性の否定、蘭印人利益の保護、日本輸入物資の對獨再輸出阻止に藉口し又馬來、佛印よりの輸入物資をも一體として取扱はんとする態度を示し且國際情勢に名を藉り或はわが軍部に對する疑惑の暗示、比較的不急品の對日輸出及現在日本より輸出不利なる重工業品の輸入要望、蘭印自體の工業振興の主張、品目別の交渉回避、日本の現時局的立場を認めず、故に過去の數字に膠着する等の手を用ひ、更にわが外相、情報局部長等の言辭を故に引用して不滿の意を表明する等凡ゆる手段を盡してわが方の要求を極力回避しつつある。しか

し一方日本の武力南進に對し極度の警戒を拂ひ、從つてわが方に過度の刺戟を與へざる如く所謂蘭人特有の圓轉滑脱性を以て交渉の遷延を策し歐洲及極東情勢の推移に應じ自己の有利な様に解決せんことを企圖してゐるものと考察せられる。抑、蘭印がかかる態度を持する所以のものは今次の歐洲戰爭は結局英國の勝利に歸するものと信ぜるがために基づくものであつて、從つて英米依存殊に米國依存の念強く米、英、濠と共に極秘裡に共同防衛に参加せる模様である。かくの如き實情にあるからには今次の交渉は英の敗戰確實となり且米國の積極的援助絶望に期せざる限り遽かに進展を見ざるべく縱令帝國が輸入物資の對獨再輸出を爲さざる旨を明確に表示するも一般通商問題に於て多少の讓歩を期待するに過ぎないであらう。しかし最近バルカン作戦東地中海作戦は愈、英國の頽勢を意味し、一方わが泰、佛印紛争調停成功、日、佛印經濟協定の成立、日ソ中立條約の成立等次ぎ次ぎにわが國際的地位の向上を物語りつゝある際、蘭印としてもその世界

對策を反省せざるを得ざる情勢に迫られつゝある。

二六

四、ソ聯邦情勢

對日動向

日ソ中立條約成立以來ソ聯邦の對日態度は表面顯著なる變化を示してゐる。從來の非友誼的態度は即時一變せられ進んで對日親和的態度の表明に努めると共に紛争事件の防止についても萬般の注意を拂ひある等少くとも表面的には本條約を眞面目に尊重せんとする意圖の表現に努めてゐる。今その具體的表現の中の二、三を示せば次の通りである。

イ、本條約成立以來入ソ又はソ聯通過邦人に對する取扱極めて殷懃親喜的となつた。

ロ、駐日滿ソ聯公館員の態度一變し我に對し頻りに交歓を求めると至つた。

ハ、徹底せる言論統制、言論機關則ち宣傳戰機關であるソ聯邦の新聞及放送に現

はれた日ソ中立條約を繞るソ聯言論の動向を考察して見るに、豫ねてわが國に關する記事ニュースは相當多量に取扱ひ、而もそれは悉くわが國情を誹謗したものであつた。しかるに松岡外相の渡歐時期より俄かにわが國に關するニュースは減少し、而も若干好意的に變じ、次いで中立條約成立後はわが國に就いてのニュースは建設的なものに變へてゐる。又支那の戰況に就いて見るに從來は重慶通信のみを掲載してゐたのが條約成立後は日本側のニュースに取換へしかも時々重慶側ニュースを利用してゐるところ邊りソ聯の言論機關によくその政治動向が反映してゐる。又わが國內の情勢に就いては非常なる關心を有し各新聞紙の論調を詳細に調査してゐるところなど驚くべきものがある。

日ソ交渉

日ソ中立條約成立を契機として從來の懸案をこの際大局的見地から解決せんものとしてノモンハン國境劃定、交渉は近く開始せられ、その他全般的な國境劃定も議を進められることとなるべく漁業交渉通商交渉も逐次進められるこ

とならう。

對支動向 日ソ中立條約成立後と雖も變化なく重慶側の動搖に對し慰撫策を講じ或は中共をして強硬態度を取らしめつゝ國共合作を圖る等對日抗戦を繼續せしめる一方依然ソ支間の交易を圖り以て本條約成立によるソ支關係の惡化を回避し且中共勢力圏の確立に努めてゐる模様である。

スターリン首相兼任 スターリンが多年黨書記長として裏面的立場にあつたのに今回モロトフに代つて首相を兼任することとなつた。その間の事情は恐らく次の如きものであらう。今世界の獨裁政治を見るに獨裁者は皆首相の地位を占めてゐる世界の趨勢である。又國內的には共產黨の政治、指導力は今日に於ては確立せられスターリンとしても黨の事務に餘裕を生じたるべく、又一面にはモロトフが外相兼任にては最近の如き外交事務繁激となつた情態では兼任は無理となつたことなどが考へられる。

國內情勢

一、對米問題

米國の商船護送問題より參戰への危機切迫に伴ひ世界は今やわが帝國の出處進退に對し多大の關心を拂ひつゝある。これは先きに日獨伊三國條約を締結したる帝國としては米國の參戰を傍視せざるべく茲に日米戰爭の危機を孕んでゐるところより、この空氣を緩和すべく突如日米極東協定なるものがニューヨーク、モスクワ、重慶から報道せられるに到つた。五月十六日ヘラルド・トリビュン紙は同紙記者が米國側から得たる情報として米國の調停による日支戰爭の終結、米國の在支日本の優越的地位承認、日本の武力南進停止、米國の南方に於ける日本經濟的特權の承認、場合によつては借款の供與を内容とする日米兩國相互協定説なるものを報道、これがモスクワ電として重慶に轉電せられ、蔣介石側はアメリカ

カ及びソ聯の對支態度に多大の疑惑を持ち且つ最近は外交上の失敗續きの折からとて極めて優柔不斷の態度を言論上に反映してゐる。

即ち大公報は日本がアメリカに日支和平の斡旋を要求したとのモスクワ電は中國共產黨が南京政府と合流すると云ふワシントン電と好個の對照をなすもので何づれも日本の謠言の毒箭である。モスクワ電の如きは日本はアメリカが支那に於ける日本の地位を承認する事を必要とするものであり、それだけでも之が謠言なる事が解る云々と云ふてゐる。

凡そ日本がいやしくも三國同盟の精神に反するが如き外交施策をとることは絶對に有り得べからざることである。世界情勢の切迫に伴ひ日、獨離間の策動は漸く熾烈となつて來た。帝國政府の對米態度は既に決定せられあるところであるのに拘らず第三國ではわが國內政治情勢を分裂混亂し得るものと考へてゐる。

二、交戦國の對日宣傳戰

歐洲戰爭の激化殊に米國參戰の空氣切迫するに従ひ英獨のわが國內に於ける宣傳戰は愈々熾烈となつた。従つて政府としても之が取締りに就いて對策を講ずるの必要に迫られて來て居る。今英獨宣傳活動の狀況を述べて見ると次の様である。

英國の宣傳活動 英國はわが國內一般に反英意識濃厚なる今日の情況に於ては公開的宣傳を許さず従つて講演又は映畫による宣傳は手控へ専らブレチン、パインレットその他刊行物による宣傳を行つてゐる。英國は從來宣傳の重點をわが國輿論の源泉である少數有力者に見出し巧妙且つ有效なる宣傳を實施しつゝあつたが最近は一一般大衆に對しても宣傳に乗出してゐる有様で現在宣傳物の配布先は四千以上に達し而も日本人の希望で月々百五十以上の増加を來してゐる實狀である。

その一例としては、"Information Received By His Britannic Majesty's Embassy"と云ふ五六頁の戰況ニュース(英文邦語譯附)を毎日各方面に使者又は郵便を以て送附してゐる。頒布先は

日本全國に互り官廳、新聞社、會社、銀行、商工會議所、大學、專門學校等にはば撒いてゐる。例へば愛知縣では名古屋商工會議所十二通、會社二十四通、學校三通、ホテル一通、商會一通、個人二十九通、縣廳關係十九通と云ふ具合に撒布してゐる。本年初頭北亞弗利加に於ける伊太利軍が負けた當時の如き日本の新聞では真相不明だからと云ふので日本人でこのパンフレットを英國大使館に貰ひに行つた者もあるとのことである。又千葉縣では學生が英語研究の資料にしようと思つて大使館に郵送を申込んで研究して見たが軍事關係の術語が多く難解のため止めたと云ふこともある。又大阪ではこの情報の郵送を受けただけで親英派と目され右翼から怒鳴られたと云ふ話もある。宣傳的刊行物としては例へば「大戰と英國」パンフレットは「Germany 1914-1938」「Britain Behind The Gun」「The Letters Of Fritz Thyssen」「The Nazi New Order For Europe」と云ふ様なものをシリーズにして時々出版してゐる。(最も「Thyssen」はヒットラー誹謗「The Nazi New Order For Europe」は日獨伊三國同盟のわが外交政策に反する性質のもの故發賣禁止處分に附した。しかし潜在的には世間に出てゐるであらう)

獨逸の宣傳活動

獨逸の宣傳はわが國とは同盟國たる關係上凡ゆる點に於て

便がある。講演、映畫、パンフレットその他の刊行物等を以て非常なる活躍を行つてゐる有様である。例へば

講演としては昨年五、六、七月と三回に互り獨逸大使館附武官各地に於て一般大衆講演、青年團、小學校生徒等に對して行つてゐる。刊行物としては英國同様日刊戰況「Deutscher Dienst」と云ふ三頁位のもの、又一週間二回伯林時報(英文)を地方新聞社に發送し各種の手段を以て記事轉載を慫慂してゐる。

映畫に對しては最も力を入れ東京にある獨逸國有鐵道中央觀光局日本支局が中心となつて活動してゐる。

以上英獨のわが國內に於ける宣傳振りの一端を述べたのであるが勿論對英、對獨の政治情勢には隔段の差を有するからその運用に於ては充分の手加減を必要とするも交戰國の祕密戰をその儘放任することは許し得ないことである。勿論取締當局は從來も閑却はして居らなかつたのであるが政府は今回交戰國の本邦内に

於ける宣傳取締りに付更らに嚴重なる對策を樹立することとした。最もこの取締りを嚴重にすることは直ちに在外公館等の行ひつゝあるわが宣傳にも報復手段をとられることあるを一應考慮するを要し一般國民殊に有識者層の歐米崇拜思想を矯正することが根本であると思ふ。

三四

三、戰時體制の強化

米國の參戰傾向、蘭印の不誠意なる態度とは帝國を繞る情勢をして刻々緊張せしめてゐる。實に皇國未曾有の重大時局である。「來らざるを待む勿れ、待つあるを待む」とは正に今日のことを云ふ。即ち國家總動員態勢の強化、戰時體制の強化こそが國家第一の要求である。勿論その根本は國民精神力の強化にある。今各種重要問題に就いてその實情を概説して見ることにする。

資金關係

豫算増加に伴ふ通貨膨脹に伴ひ國民所得は昨年の二百數十億より

更に多額の増大を見ることがなる。しかるに一方物資の生産には全體として大した増産は期待出来ない現況であつて施策宜敷しきを得ざれば悪性インフレーションを招來することなしとしない。

即ち購買力吸収が最大要件となり増税、保險、愛國公債の賣出し等が必要となると共に資金面に再檢討を要することとならう。差當つて本年度第一四半期に於ては大體過去の實績を基準として計畫せられることとなつた。特に滿洲支那へは貨幣價值維持のためそれに相應する物資を送ることが必要であつて昨年度は滿支合せて約二十億の物資を送つたのである。之より輸入物資を差引たる輸出額は國內に於ても相當物資の不足となつて現はれた次第である。現在物價は内地に比べて滿洲が二倍、北支が三倍、上海が四倍となつて居り現地には相等不平不滿の聲があるが重慶の十三、四倍に比べて見たならば未だ問題ではなからう。

經濟新體制

自由主義的に分裂混亂し利潤第一主義に依つて重壓せられてゐ

皇國內外の情勢

三五

る産業界の現状を以てしては到底國家の要望に沿ひ得ない。目下考究されつゝある新體制は従つて、國家目的に従ひ、公益優先職分奉公の趣旨に従ひ指導者原理の下に資本、經營、勞務が有機的一體となつて活動し得る様にすると共に全産業部門を業種別又は物資別に系統的に組織化し指導者の責任の下に積極的に活動せしめんとするのである。漸次鐵、石炭等の重要産業部門に指導者を置かんとする案である。即ち民間の推薦により政府の認可したるものを指導者とする。指導者は絶対権を持つのである、發明發見其他の努力に依つて國家生産の増強に寄與したるものに對しては適當の報奨を與へることになつてゐる。經濟新體制に對しては重要カルテル團體は賛意を表してゐる。しかるに中央産業人の一部には種々の點で意見が一致して居らない。何れにするも現下の時局に鑑み強力なる政治力によつて速かなる解決を要する問題である。

人員動員

支那事變に於て一大試練を経たるわが人員動員は近き將來大陸及

び太平洋の二大作戰に對する兵力を保有し軍需産業に國民生活確保のための平和産業に將又大陸移民のために全國民は動員せられることとなるが從來人口過剩に苦しんだわが國は現在勞力拂底に悩むこととなつた。よく獨逸は六百萬からの兵力を動員し而も工業生産力も偉大なる成果を收めて居るのに對しわが國は獨逸以上の人口數を擁しながら勞力不足に苦しむとは不可解であるとの非難があるがこれは年齢方面の觀察が缺けて居る論である。獨逸は一九三三年調べ十四歳以下が二四%なるに對し、わが國は三七%となつて居り獨逸は産業要員がわが國より一三%も多い。しかしながら將來性を考へたならば子供の多いわが國は前途有望であると云へる。

昭和十六年度の勞務動員は目下審議中なるも新規需要は農村方面は別として百二十數萬(滿洲移民を含む)であつて現下中小商業者の轉業見込者約百二十萬と見るも十六年度には約五十萬位で之は當然その中に吸収せらるゝとして尙ほ青少年

勞務者七〇萬を以て當つることとならう。以上は一般勞務動員であるが技術者は年約八萬を要するも現在僅かに一萬二三千程度の補給力であつてこれが養成機關として三百名の大學三個、二百名の専門學校二十五個、百二十名の實業學校五十個を豫算約一億圓を以て新設せんと計畫中なるも之には職員も學校設立の資材の點に於て困難性がある現状である。又學生青少年の勤勞奉仕を義務制にすべきであるとの意見もある。

國土防衛の問題

東京、大阪、名古屋、北九州地區に於けるこれ以上の工業の集中の抑制は國防上絶対の必要がある。わが國軍需工業の大生産地が一舉に灰燼に歸したならば軍の補給に直ちに大支障を生ずることとなる。而も國土計畫の本格的設定には二、三年の年月を要するを以て應急の臨時措置としてでもこの問題を取上げる必要があり目下之が施策を研究中である。

言論新體制

時局下言論機關の國家的使命は愈々重大である。わが國の言論

は事變以來當局の指導と業者の自肅協力とによつて概ね國論の指導性を向上して來たと云へる。しかしその事業形態は個人又は集團の自由企業として發達して來た結果稍もすれば營利のため本質の公共機關たるべき使命が没却せられてゐることとは識者の齊しく認めるところである。之がため速かに新聞紙法、出版法の時局に即應する改正、新聞事業法、新聞記者法の制定を必要とするも未だその域に達してゐない。しかし消極的には用紙の消費節減から來る用紙統制によつて新聞、雜誌等の刊行物はその經營なり編輯なりに當局の指導力が大いに強化せられたこととなつてゐる。今茲に今日迄具體化せられた言論新體制の概貌を述べて見ることとする。

(イ) 新聞關係

今回全國新聞社の自治的統制團體として社團法人新聞聯盟が新たに結成せられることとなつた。その事業目的は

- イ、言論報道の統制に關し政府に對する建議又は答申
 - ロ、新聞の編輯並に經營の改善に關する調査
 - ハ、新聞事業に對する助成並に出資
 - ニ、新聞従業員の養成並に訓練
 - ホ、新聞用紙その他資材の割當調整
 - ヘ、その他本聯盟の目的達成に必要な事項
- となつてゐる。從來大新聞と地方新聞とは營利的に對立關係にある。本聯盟が所期の目的を達するや否やは一に今後の活動に俟たなければならない。

(ロ) 出版關係

新聞以外の出版物の新體制機關としては社團法人日本出版文化協會、日本出版配給株式會社が設立せられた。

出版文化協會の事業内容は用紙統制機關である。新聞雜誌用紙統制委員會と

の連絡を主務としてゐる。それに用紙の割當調整、出版物の配給書籍小賣商團等の監督指導を、無益出版物の抑制、滿洲支那その他の外國から來る又は出す出版物の統制、積極的な方面では優良出版物の獎勵普及、讀書普及施設の獎勵、出版文化功勞者の表彰等用紙から出版物の製造、配給、販賣に至る生産、配給、消費が一元的に統制せられた。これからは「良い本を安く普及すること」が實現できることとならう。

(ハ) 新聞、雜誌の整理

時局下新聞、雜誌等の言論機關の國家的使命極めて重大なるに拘らず新聞紙、雜誌の中にはこの使命を解せざる不良なるものが少からずある。又不良と迄は至らずとも低調なるものが多く之が刷新を圖ることが必要と認められてゐた。偶、用紙不足に對する對策を必要とすることとなり、昭和十三年の夏頃から之と並行して不良紙整理を始め、次いで更らに進んで一般新聞雜誌の整理統

合を勸奨した。その結果として事變前七百數十種あつた日刊新聞紙が今日では約二百種に減少して居る。又新聞紙法による雑誌は事變前約一萬二千位であつたものが今日では約五千に整理せられてゐる。

附録 現下の食糧問題

まへがき

瑞穂の國を誇り、從來食糧に恵まれてゐた我が國に於ても、事變以來種々の事情より食糧消費の増大を見つゝあつた際に、不幸にして十四年秋、朝鮮に未曾有の旱害を生じ、之が直接の動機となつて、食糧關係は著しく不安定な状態を呈するに至つた。

戦時に於て食糧の需給が或程度窮屈となることは免れないところであり、又事變進展の將來に備ふる食糧の蓄積を考慮するとき、現在の如き食糧の逼迫せる状態が近き將來に於て、著しく緩和されると云ふことは、到底豫想し難いのである。今日は萬難を排しても、食糧の需給を調節すべき計畫的組織の確立に邁進せねばならぬ時期に際會してゐると考へられる。過去二箇年に互る苦しい、併しながら貴重な經驗を活用して、全國民一體となり、一日も速かに食糧の戦時體制を確立せねばならぬと信するのである。

一、最近に於ける食糧の需給状況

——日滿支三國間の食糧交流關係——

皇國內外の情勢

抑、食糧の需給關係は、内地としては米を中心として考へねばならぬことは勿論であるが、同時に亦大麥、裸麥、小麥等の麥類と米との相關々係、或は甘藷、馬鈴薯等代用主食原料との關係に就ても考慮せねばならぬ。此の食糧の綜合的考察と云ふことが從來動もすれば等閑視され勝ちであつたことは遺憾であり、米のみが食糧であるかの如く考へる謬見を正すことが必要である。

米の需給關係の逼迫せる現狀に於て特に然りと謂はねばならぬ。而して米を中心として麥類其他の雜穀類との關係を考察するに、先づ生産立地の側面より外地即ち朝鮮、臺灣との關係を考慮することを要するは勿論、更に滿洲國、北支等との關係を見ることが必要である。

一例を挙げれば滿洲國から朝鮮に粟、高粱等の雜穀が輸出せられ、朝鮮からは内地へ米が移出せられ、内地からは朝鮮、滿洲國に對し小麥粉を輸出してゐる。又滿洲國から内地へは玉蜀黍(包米)、高粱等の雜穀が主として動物飼料として輸入せられる。其の結果、大麥、裸麥の飼料に廻る分が、人間の食料に振向けられる、と云ふやうな關係が各地域間に存在してゐるのである。滿洲から内地に輸入せられる動物飼料が減少すれば、逆に人間の食料に充てらるべき麥類が動

物飼料に用途を轉換すると云ふ結果になる。

人間の食料と動物の飼料との關係には中々複雑な事情があるので、前の歐洲大戰の際ドイツは非常な食糧難を経験したが、其の食糧難の初期に於て食糧不足を補ふ爲に動物飼料を減少せしめて之を食糧に振向けた結果、漸次家畜頭數の減少を來し、肉類依存の食制にある關係から食糧難は一層深刻なる様相を呈するに至つて、戰爭遂行の能力さへ問題とせられるに至つたと云はれてゐる。

此の點に就ては、日本人は魚類を多く食する關係上、大きな強味を有するのであつて、今後水産食料品の一層の活用が要求せられる所以である。

斯様に考察して來れば、滿洲より輸入せられる大豆、大豆粕の如きも、米麥等の食糧の問題とは重要な關係を有する譯である。

斯様な次第で、食糧の需給關係に就ては、米、麥類、粟、高粱、大豆、玉蜀黍等の間に複雑な關聯があり、地域的に見ても、内地、朝鮮、臺灣は固より、滿洲、北支との關係をも重視するを要するのであるが、此等の農作物が各地域に於て年々の作柄に相當の變化を示す結果、各地域間

の交流關係は著しい影響を蒙るを免れないのである。

而して平時に於ては、食糧の不足分を海外より輸入して補填すると云ふことも比較的容易であるが、現在の如き國際情勢の下では輸入資金、船腹等の關係は勿論、其の他の政治的事情からして中々自由に手當をする譯には行き兼ねるので、有無相通する範圍は自ら局限せられざるを得ない。此處に日滿支三國間に於ける食糧交流の重要性が存すると共に、佛印、泰等を含む所謂大東亞共榮圈の食糧需給の見地よりする意義も生れて來る次第である。

併し此の食糧の交流計畫なるものは、農産物の生産が天候等の自然條件に依り著しい變化を受けることを免れず、又多數農家から集荷せねばならぬと云ふ點もあり、其の具體的計畫の確立に就ては、種々の複雑且困難なる問題が存在するのである。

そこで日滿支を通じての平常の場合に於ける食糧交流の關係を大觀するに、先づ米に就ては、内地は平年作約六千五百萬石と稱せられるが、此の生産額を以てしては到底内地人口を養ふに足らず年々朝鮮より約七、八百萬石、臺灣より約四、五百萬石合計一千二、三百萬石を移入して其の不足分を補ふと云ふのが、最近迄の實態であつた。

次に麥類に於ては、大麥及裸麥に就ては、大麥が大體七百數十萬石、裸麥が六百餘萬石、合計一千三、四百萬石許りの生産高であり、特に外部から大麥、裸麥を輸入することは無いこれが大體自給の状態である。

小麥は昭和六年頃迄は年々四、五百萬石輸入してゐたが、小麥増殖計畫の實施以來、逐年内地の生産が増加し、最近では一千万石を超える生産高を示してゐるので、朝鮮、臺灣は固より、滿洲北支の方面へも小麥粉を輸出しつゝある状態で、其の數量は最近に於て二百萬石程度に上つてゐる。

次に滿洲から朝鮮への粟其の他の雜穀の輸入數量は、事變前に於て、粟が約一百万石、黍が約七十萬石、大豆が約五十萬石、玉蜀黍が約三萬石で、此等の雜穀が朝鮮へ輸入される一方、朝鮮から内地へ移出する米の量は約七、八百萬石に上つてゐた。

尙滿洲から内地に對して、動物飼料として玉蜀黍、高粱等の雜穀が相當に輸入せられ、其の外四、五百萬石の輸入を見てゐる大豆は多く食料に廻されるが、飼料にも使はれてゐる。之を要するに、内地は朝鮮、臺灣から米を入れ、小麥粉を朝鮮、臺灣、滿洲、北支へ出す。朝鮮は内地へ

米を出し、其の代りに滿洲から雜穀を入れて食料の補給を付ける。滿洲は小麥粉を内地から供給して貰ひ雜穀を内地、朝鮮に送る。斯様な交流關係に在るのが平常の状態であつたと言ふことが出来よう。

事變以來東亞新秩序の建設と云ふことが新日本の指標として掲げられ、日滿支經濟結合の必要が一層痛感せられるに至つたが、上述の食糧交流關係は今や萬難を排して計畫的に之を實施するやう、關係方面總掛りで努力せねばならぬ事態に立到つてゐる。

又獨り配給上の交流關係に止まらず、食糧の生産部面に於ても、夫々の地域に就て綜合的見地に立つた生産計畫を樹立し、之を促進することが極めて緊要であると云ふ事態に當面してゐるのである。

斯様な實情を念頭に置きつ、現在の内地に於ける米穀事情を考察するに、此の食糧相互間の牽聯關係は其の一角に何等かの故障が生じた場合には其の波及する所が中々小範圍に止まらぬのであつて、地域的に、又相互に代替性を有する夫々の物資別にも、相當深刻な影響を與へずには置かないと云ふことは明かであらうと思ふ。

二、最近の米穀事情

然るに昨年の内地米實收高は、一部地方の旱害、病蟲害等に因り六千八十八萬石と云ふ數字を示し、之は前年より約八百萬石、平年作(前五箇年平均實收高)六千五百萬石より約四百萬石の減收である。加之、朝鮮に於ては二千五百五十二萬石の實收で、之は前年の旱害に因る減收を受けた一千四百萬石と比較すれば相當の回復であるが、平年作には及ばず、臺灣の第二期作も三百六十八萬石といふ、茲數年見なかつた減收を示してゐるので、朝鮮、臺灣より内地への移入數量は、從來の如きものを期待する譯には到底行き兼ねるといふ狀況に在る。

昨年は周知の如く朝鮮米の大減收の影響を内地が最も深刻に受けて、其の結果相當量の外米を輸入して辛くも需給のバランスを合せたのであるが、今年も上述の如き實情に在る爲内地としては米の需給關係上相當の不足を生ずることは免れない所である。

其の不足部分に就ては、需要の方面に於て、出來得る限り消費の節約を圖らねばならぬことは勿論であるが、尙且不足する部分に就てはどうしても外部から補給する途を講しなければならぬ。

次に内地に於て米の増産を圖ると、もに、出來得る限り公正且圓滑なる配給を實施し、苟も偏

在、退蔵等の生ずるが如きことは断じて之を防止せねばならぬ。
且戦時下種々の事情の下に米の消費は増大する傾向にあるが、之に對しては消費規正の方策を講じ極力需要の抑制を圖ることが必要である。

最後に米以外の麥類其他所謂代用食混食原料に就ても、食糧の綜合的見地より其の生産、配給、消費に互る國家統制を強化することが要求せられる。

以下此等各方面の對策に就き、現在政府が如何なる措置を執りつゝあるかの概貌を紹介しよう。

三、主要食糧農産物の増産計畫

昭和十六年度の主要食糧農産物の増産計畫は次の如くである。

生 産 目 標	増 産 數 量
米	七一、四四五 <small>千石</small>
大 麥	八、三四四
裸 麥	七、四四二
小 麥	二八、七八六
	四、八四九
	一三、〇〇〇

甘 藷	一、四三五、五〇〇 <small>千石</small>	四五五、五〇〇 <small>千石</small>
馬 鈴 薯	六六八、〇〇〇	一七八、〇〇〇

増産施設としては、(1)耕地の擴張、改良施設 (2)耕種改善施設 (3)休閑地空地の利用 (4)荒廢桑園の整理 (5)農業技術者及精農家の動員(食糧増産技術組織の整備)茨城縣内原に於ける農業増産報國推進隊の訓練等 (6)肥料、資材の可及的確保等有ゆる方面から對策を講じ増産目標の完遂を期してゐる。

尙長期に互る食糧増産計畫としては、昭和十六年度から昭和二十七年に至る約十箇年を第一期計畫として、米約一千二百萬石麥類約一千二百萬石の増産を期し、右計畫達成のために耕種改善に依り耕地反當改量の増加を圖るは勿論、新に耕地五十萬町歩(水田二十萬町歩、畑三十萬町歩)を開墾し、他方約二百七十萬町歩の耕地改良を實施すること、なつてゐる。之がために去る第七十六議會の協賛を得て農地開發法を制定し、大規模の開墾や農業水利改良事業に就ては農地開發營團なる特殊法人をして、國家の強力なる監督の下に之を實施せしむること、なつたのである。

四、外米及外地米の輸移入に關する對策

五二

前述の如き米穀事情に在るので、内地としては朝鮮、臺灣から出來得る限り米の移入を圖ることが、此の際として極めて重要なのであるが、何分にも朝鮮、臺灣に於ける米の作柄が上記の如き状態なので、到底多くを期待することが出來ない。朝鮮に對しては、滿洲より朝鮮への雜穀の輸入を促進して朝鮮米の内地への移出を多少でも増加すべく努力してゐるが、之も中々豫定通り行き難い状況である。

そこで本年も前年に引續き相當數量の外米を輸入して不足部分を補ふ必要があるので、政府に於ては昨秋來著々準備を整へて買付けを實行し、一部は既に輸入済であり、今後の輸入に就ても配船其の他の計畫を進めつゝある。外米を輸入するには、月別に計畫通り入れることが極めて必要であるが、配船、船積の關係、産地に於ける集荷の關係等に於て種々困難な事情があり、中々豫期の如く進まない場合がある。幸にして佛印との間には或る程度の諒解が成立したが、今後實際情勢の推移如何に依つては、計畫遂行の前に幾多の困難、障礙が生じ來ることを覺悟せねばならぬと思ふ。關係方面に於ては出來得る限り緊密に協力し所要數量の確保に萬全を期してゐる次第である。

第である。

五、米穀の國家管理及配給統制

一方内地に於ける米の配給の問題に就ては、偏在や退蔵を防止し米の不足せる消費地の方面に圓滑な配給を圖ることが緊要である。

之が對策として政府は「米穀ノ應急措置ニ關スル法律」に依り米の買上賣渡を行ひ、右の目的達成に努力し來つたが、昨年八月「臨時米穀配給統制規則」を制定して米の集荷配給の經路を定め、更に十一月以降即ち昭和十六米穀年度より「米穀管理規則」の施行に依り劃期的なる米穀國家管理の制度を實施するに至つた。

此の制度は米の生産者に一定の保有米を残し、他は國家の管理の下に販賣せしめることを骨子とするものであるが、農村方面の非常な協力に依り大體豫期通りの効果を擧げ、三千數百萬石の管理米豫定數量に對し、四月上旬既に九十五%の集荷実績を示してをり、政府米の買入も頗る順調に進捗しつゝある。

尙一部の地方に於ては、保有米から更に管理米を供出せんとする供米運動が生産者團體に依つ

皇國內外の情勢

五三

て展開せられ、之が全国的の運動にまで擴大する形勢にあることは、農業者の報國精神の發顯であり、洵に邦家のため感謝に堪へない所である。

五四

六、米穀の消費規正

米穀の需要の方面に於ては、政府は昨年六月以降、府縣別の米穀規正消費高を決定し、各府縣は各其の範圍内で需給の適合を圖ることに努め來つたが、本年四月一日より東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戸の六大都市に於て通帳に依る米の割當配給制を實施するに至つた。

六大都市は人口一千五百萬以上を擁する米の大消費地であり、此處に米の割當配給制を實施し、配給統制、消費規正の組織が確立することが出來た結果、今後米の配給を計畫的に實行することが容易になつた譯であつて、其の意義は極めて大きい。割當配給制の實施に就ては、萬端の周到なる準備が必要であり、今回通帳制を採用するに就ても、或は配給機構の整備に、或は所要數量の確保に、非常な苦心が拂はれたのである。

先づ配給機構に於ては、東京では米の卸商と小賣業者とが合體して府下一圓を區域とする東京府米穀商業組合を結成し、大阪其の他各都市にも夫々趣を異にするも所謂共精共配の組織に依る

地域的一元配給の新機構が確立せられ、割當配給制の圓滑なる運営を期してゐる。

次に本制度の實施に際し、最も必要なことは、消費地に於ける米の集積、米の確保と云ふことであるが、第一に問題なのは鐵道輸送の困難である。云ふまでも無く戰時輸送に就ては、國家的見地より重要な物資を優先的に取扱ひ、生活必需品中の必需品たる米に就ては勿論優先順位が認められてゐるが、現在の如く貨物の輻輳する状態では、尙且多くの困難がある。一例を擧ぐれば、著名な米産縣である新潟から主要消費地に移出する米の輸送のために、新潟から出る他の物資の輸送は従來に比し半減したと言はれてゐる。米の輸送に就て如何に大なる努力が拂はれてゐるかは此の一事でも明瞭であらう。

併し如何なる犠牲を拂つても六大都市への米の集積には萬全の努力をせねばならぬのであつて、切符が渡つても物が買へないと云ふやうなことが假りにも米に就て起つては治安にも關係する一大事であるから、政府としては内地米の輸送、外米の輸入、政府米の拂下其の他有ゆる手段を盡して所要數量の確保に萬遺憾無きを期しつゝ、ある次第である。

七、代用食對策

皇國內外の情勢

五五

麥類の配給統制に關しては「麥類配給統制規則」、小麥粉等に就ては「小麥粉等配給統制規則」を制定し、集荷配給の經路を定むるとともに「米穀ノ應急措置ニ關スル法律」の運用に依り政府に於て販賣麥の全部を買入ること、し配給の圓滑を期してゐる尙去る第七十六議會に於て、右法律を改正し、政府の買入賣渡を行ふ對象を従来の「米穀並に米穀以外の穀物及穀粉」から「米穀及米穀以外の食糧農産物並に加工品」に擴張し、其の結果政府は米麥、豆類、小麥粉等のみならず、甘藷、馬鈴薯、麵類等をも取扱ひ得ることになつた。此の改正法の運用に依り、代用食、混食の原料の確保及配給統制に就き今後一段の努力を拂ふ筈である。

結 び

昨年は前年秋に於ける朝鮮米の大減收を契機とせる米穀事情の急變に因り、官民共に實に苦い、併しながら今にして思へば貴重なる經驗を嘗めたのである。

此の經驗に基づき、政府に於ては米穀の國家管理乃至配給統制、消費規正には新制度を樹立することともに、外米外地米の輸入に就ても種々對策を講ずるに至つたのであり、戰時食糧體制も今後愈本格的に整備されて行くものと考へられる。而して此の經驗を活かし、食糧の戰時體制

を確立すると云ふことに關しては、獨り政府のみに止まらず、國民凡てが、生産者は生産者として、消費者は消費者として、又配給業者は業者として、各其の立場に於ける經驗を活用し、一致團結して當面せる食糧難局の打開に邁進せねばならぬと信ずる。

「食糧は勝利を齎す」と云ふ諺があるが、萬難を排して戰時食糧體制を確立し以て高度國防國家の基礎を固むることが、實に刻下の急務なりと確信するのである。